

令和元年度、令和2年度に各地域包括支援センターで開催した地域ケア個別会議及び多職種カンファレンスの結果から、地域課題の抽出を行い、討議する。

#### 1 地域ケア個別会議の開催状況

	北部地域包括支援センター	南部地域包括支援センター東郷苑
令和元年度	18回	4回
令和2年度	9回	25回

#### 2 多職種カンファレンスの開催状況

令和元年度	5回
令和2年度	4回

#### 3 地域ケア個別会議及び多職種カンファレンスから地域課題を抽出する

○地域ケア個別会議及び多職種カンファレンスで取り上げられた事例で見られた課題のうち、他の事例や地域全体にも共通すると考えられる課題について、地域課題リスト（全26項目）の中から重要と考えられる順に3つまで選択する。

○地域ケア個別会議及び多職種カンファレンスで取り上げた事例の内容、検討結果について別添参考資料「地域ケア個別会議における地域課題抽出シート」及び「多職種カンファレンスにおける地域課題抽出シート」にまとめる。

#### 4 抽出された地域課題について討議する

○地域課題として選択された上位5項目について、課題の深堀を行うとともに、課題に対する現在の町の取組と比較しながら、今後必要となる取組の検討を行う。

例)

- ・認知症高齢者の見守り体制
- ・認知症や精神疾患に対する理解

⇒認知症施策推進事業

- ・住民等による組織的な支援体制の不足
- ・気軽に集える場の不足・居場所づくりの必要性

⇒生活支援体制整備事業

- ・介護力の低い家族との同居、8050問題

⇒多機関の協働による包括的相談体制の構築

- ・転倒・骨折、関節疾患対策

⇒地域介護予防活動支援事業、通所型サービスなど

- ・リハビリ体制の構築

⇒地域リハビリテーション活動支援事業、短期集中予防サービスなど

## 地域ケア会議の役割

### 1 地域ケア個別会議

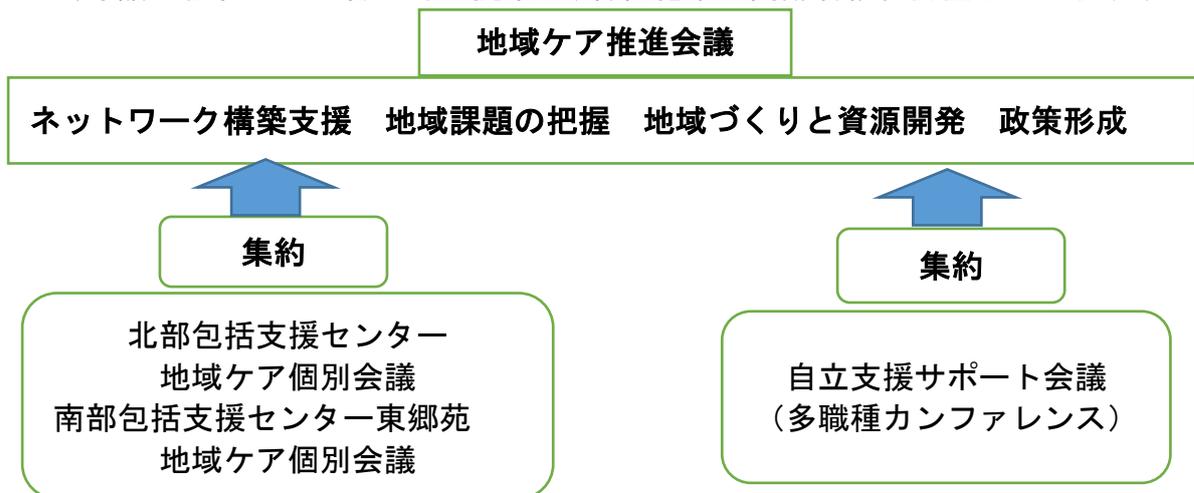
支援困難ケースを扱う地域ケア個別会議は日常生活圏域ごとに設置された地域包括支援センターで行う。話し合うケースはケアマネジャーや介護サービス事業者、地域からの相談や地域包括支援センターが直接かかわるケースなど。具体的には支援困難ケースから自立支援を著しく阻害するケース、虐待が疑われるケース、地域の住民間でトラブルが生じているケースなど。

### 2 自立支援サポート会議（多職種カンファレンス）

取り上げるケースは要支援～要介護1・2の軽度の高齢者が対象。また、要介護認定は受けていないがフレイル状態の人も含める。具体的には心身機能や生活機能の改善が見られないケースに対して、自立に向けて医療面、身体面、栄養面から討議するほか、在宅での生活を続けるために利用できるサロンやインフォーマルな資源について情報交換する。

### 3 地域ケア推進会議

地域ケア推進会議では、地域ケア個別会議と自立支援サポート会議（多職種カンファレンス）で明らかになった問題点と課題を集約し、それらを町の地域包括ケアシステムの課題として位置づけ、どのように達成していけばよいかを話し合う。話し合われた内容は町へ提案し、各種施策や高齢者福祉計画などに反映する。



#### ネットワーク構築支援

ケースがどのような状況になるか想定し、その時にどのような連携の仕方があるのかを話し合い、ルール化へのきっかけの場となることを目指す。

#### 地域課題の把握

地域で起こっている特徴的な状況を総合的に判断して、解決しなければならない地域課題を明らかにする。

#### 地域づくりと資源開発

どのような地域になればよいか、そのために求められる地域づくりと社会資源開発は何かを話し合う。

#### 政策形成

市町村の施策や事業の立案・実施、高齢者福祉計画等につなげる。